

SHISHI-IWA-HOUSE

PRESS RELEASE

2025年5月

軽井沢のリトリートリゾート「ししいわハウス」が箱根に拠点を拡大 建築家に妹島和世氏を迎え 2027年の完成を目指す



軽井沢のリトリートリゾート「ししいわハウス」（運営：HDHP 合同会社）は、箱根の「ししいわハウス No.4 (SSH No.4)」の建築家として、プリツカー建築賞受賞者である妹島和世氏（妹島和世建築設計事務所）を迎え、新たなリトリートリゾートとして2027年に完成予定です。

箱根国立公園の森林に囲まれた SSH No.04 は、温泉、湖、富士山のパノラマビューを誇る自然の恵みあふれる美しいロケーションに誕生します。東京から電車でわずか90分の距離にある箱根は、長い間、都市に近い静寂を求める芸術家、作家、旅行者の文化的・精神的なリゾートとして機能してきました。この地で SSH No.4 は、アクセスの良さと隠れ家的要素を兼ね備え、ご滞在のゲストにとって休息、内省、そして再生の理想的なデスティネーションを目指します。

SSH No.04 は、18室のゲストルーム、レストランとバー、天然温泉、ジムとウェルネス専用スペースを備えたラグジュアリーな施設の完成を予定しています。妹島氏の SSH No.4 のデザインは、細い柱に支えられたピロティ形式で、建物が森林に優しく浮かんでいます。敷地はなだらかに傾斜しており、20メートルほどの高低差を駆け上がるように、背後の山々へと連続しています。敷地の中に入ると、道路からの騒音が遠のき、深い森林が広がっています。この建築は地形に沿うように屈折し、道路との距離を取り、地面から少し持ち上がり森の中に浮遊し、そして森の中に溶け込んでいきます。黒い外壁が濃い緑に同化して消えて、暗い外観は密集した葉に溶け込み、ヒノキの木で仕上げられた暖かい客室が森の中でランタンのように柔らかく浮かび上がり

SHISHI-IWA-HOUSE

ます。デザインは軽やかさ、ゲストのプライバシー、空間を移動する感覚体験を強調しており、妹島氏の建築言語の特徴です。

「森の一部であるかのように感じられる場所を作りたい—自然と穏やかに共存し、人々がゆっくりと時間を過ごすことができる建物」と妹島和世氏は述べています。「日常から離れた静かな空間を提供し、建築が人と人とのつながりを創出したり、自身と向き合う場所になることを目指しています。」

「妹島和世氏としいわハウス No.04 で協力できることを光栄に思います。彼女の建築は、軽やかでありながら深く地に足をつけたように感じさせ、しいわハウスの箱根の拠点として理想的です」としいわハウスの創設者であるフェイ・ホアン氏は述べています。「私たちは、お泊りのゲストの内省と再生をサポートし、純粋に美しいリトリートリゾートを作ることを楽しみにしています。」

妹島和世氏との箱根のプロジェクトは、全世界でリスペクトされている日本の素晴らしい建築家としてしいわハウスのこれまでのパートナーシップを継承。軽井沢での坂茂（SSH No.01 と No.02）と西沢立衛（SSH No.03）によって設計されたリトリートの成功に続き、しいわハウス No.04 は、人々を自然との深い調和に導き、回復および再生するための空間を作り出すというブランドの使命の次の進化を表します。しいわハウス No.04 の建設は 2025 年に開始され、2027 年の完成を目指しています。

以上

《しいわハウスについて》

しいわハウスは、日本に深く根ざした国際的なホスピタリティブランドです。現代建築、デザイン、アートと食を融合させ、自然との深い結びつきを持つリトリートリゾートです。SSH プログラムの月間スケジュールにより、しいわハウスはアートと建築ツアー、有機農場訪問、オーダーメイドのトレイル体験、スペシャルイベント、ツアー、アクティビティを丁寧にキュレーションしてゲストにいます。持続可能な建築とその人間の感情や環境へのポジティブな影響をもたらすべく、しいわハウスの最初のリトリートは軽井沢の国立公園に誕生し、現在では 3 つの素晴らしい建築の本拠地となっています。坂茂による SSH No.01 と SSH No.02、西沢立衛による SSH No.03。妹島和世による SSH No.04 は 2027 年に箱根で開業予定です。軽井沢のウェルネスとイベントセンターとなる SSH No.05 は石上純也の設計で 2027 年に完成予定。同じく軽井沢にビジョイ・ジャンによって設計されるヴィラレジデンスである SSH No.06 は 2028 年にオープンを予定しています。

オフィシャルウェブサイト：<https://www.shishiiwahouse.jp/>

オフィシャルインスタグラム：

<https://www.instagram.com/shishiiwahouse/>（軽井沢）

https://www.instagram.com/shishiiwahouse_hakone/（箱根）

SHISHI-IWA-HOUSE

《妹島和世について》

1956 年生まれ。1981 年に日本女子大学大学院修了。1987 年妹島和世建築設計事務所設立。1995 年西沢立衛と SANAA 設立。主な作品に再春館製薬所女子寮、梅林の家、犬島「家プロジェクト」、すみだ北斎美術館、日本女子大学目白キャンパスがある。SANAA の主な作品は、金沢 21 世紀美術館、ニューミュージアム（アメリカ）、Rolex ラーニングセンター（スイス）、ルーヴル・ランス（フランス）、グレイス・ファームズ（アメリカ）、ラ・サマリテーヌ（フランス）、ボッコーニ大学新キャンパス（イタリア）、ベツァレル・アカデミー・オブ・アート&デザイン（イスラエル）、シドニー・モダン・プロジェクト（オーストラリア）など。

2010 年第 12 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを務める。SAANA として日本建築学会賞、ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞、高松宮殿下記念世界文化賞、プritzker 賞、王立英国建築家協会 2025 ロイヤル・ゴールド・メダルなどを受賞。2024 年には文化功労章に選出。現在、東京都庭園美術館館長、ミラノ工科大学教授、横浜国立大学名誉教授、日本女子大学と大阪芸術大学の客員教授を務める。

《本件のご取材・報道に関するお問い合わせ先》

株式会社エス टीम

山崎 info@s-team-inc.jp